

文芸

漢字にはふりがなを記入し、種類（短歌・俳句・狂言）ごとに投稿してください。
同じ句は広報紙以外に投稿（重複投稿）しないでください。

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、
役場広報係まで。締切は毎月15日（必着）です。

短歌

末武 有二 選

水張田に早苗植えられ青々と吹き渡り来る風
の涼しさ 安永 福田 圭子
雨上がり朝の散歩の水かがみ電柱逆さにうつ
りて映える 宮園 金子フム子
半夏生凛として咲く梅雨の庭佇むうち心
澄みゆく 安永 川野 光子
道の辺に黄金に熟れる小判草小さき風にシャ
ラシャラ揺れる 安永 守住 孝子
ゆっくりとしょうぶ湯使う雨の夜コロナのこ
とはひと時忘れ 赤井 鈴木 駒
懐かしき昔を語る君の名を口に出てこぬ老い
のいら立ち 赤井 増岡 伸禎
大水害友の安否が気に掛かるメール届かず夜
が更けてゆく 宮園 今吉マキ子
わびしくもこもり暮らせるこの時に豪雨被害
の被災地思う 惣領 島田 廣子
大雨に住む家捨てて避難するよみがえる我の
熊本地震 宮園 島 みつぎ
豊かなる球磨川暴れ濁流をベッドの我は恐れ
見るのみ 広崎 松原まゆみ
古希のとし健康診断再受診体に潜む悪玉恐る
る 広崎 日野ヒロ子

俳句

河野 全平 選

避難指示山滴りて雲早し 木山 細井ヒロ子
水無月の季語恨めしき豪雨かな 宮園 今吉マキ子
紫陽花や大雨警報またも出る 広崎 松原まゆみ
絵日傘を回せば吾子の目くるくると 古閑 今村 恒心
どくだみの花咲き乱れ空き家かな 惣領 阪口由美子
長雨や肩身が狭い雨男 赤井 増岡 伸禎
この夏はコロナ洪水挟み撃ち 江津 高田芙佐子
みかん花生まれ故郷はスリランカ 木山 山口サツキ
荒梅雨や古里いかにとメール来る 田原 辻ヶ峰子
一句鑑賞
滝壺のルリ深まりて溢れけり NHK俳句 題詠「滝」

川柳

布田川左門 選

『お題』 自由詠
お見舞いの母はホームで認知症
降らんでも過ぎて困る天の雨
子も親も感染恐れ籠の鳥
『お題』 原爆
原爆や「はだしのゲン」を読み返す
コロナ菌核より怖い新兵器
反戦をこころに原爆ドームかな
※参考例
振り向けば街が消えてたエノラゲイ

川柳のお題 「将棋」

平成28年熊本地震で甚大な被害を受けた本町では、復旧復興事業が円滑に進むよう、工事をする前に必要な埋蔵文化財の発掘調査をするために、大分県をはじめ、鹿児島県、宮崎県、神戸市から専門職員の派遣を受けています。
その派遣職員の中で、平成30年度から令和元年度まで、大分県から原田昭一さん（現在は、大分県立歴史博物館学芸員）が派遣されていたことが縁となり、大分県立歴史博物館で5月26日から8月2日まで、特集展示「震災と文化財・熊本県益城町の歴史文化の復興」が開催されました。
この展示では、復旧復興の過程で行った発掘調査で出土した土器などや、町内に所在する社寺などの文化財復旧の資料、同博物館の協力により保存処理をもらった文化

益城の文化財
町文化財保護委員会



益城町

平成28年熊本地震をきっかけ

とした文化財の交流